

併日蓮が符を進らせし故也。さこそ父母も悦び給覽。殊に御祝として餅酒・鳥目一貫文送給候畢。是また御本尊十羅刹に申上て候。今日佛生れさせまします時に三十二の不思議あり。此事、周書異記と云文にしるし置けり。釋迦佛は誕生し給て七歩し、

口を自開いて天上天下唯我獨尊三界皆苦我當度之の十六字を唱へ給ふ。今の月滿御前はうまれ給てうぶごゑに南無妙法蓮華經と唱へ給ふ歟。法華經云、諸法實相。天台云、聲爲佛事等云云。日蓮又かくの如く推し奉る。譬ば雷の音、耳しいの爲に聞事なく、日月の光り目くらの爲に見る事なし。定て十羅刹女は寄合てうぶ(産)水をなで養ひ給らん。あらめでたやあらめでたや。御悦び推量申候。念頃②に十羅刹女・天照太神等にも申て候。あまりの事に候間委は申さず。是より重て申べく候。穴賢穴賢。

日 蓮 花 押

④ 四條金吾殿御返事

①て十(唱へ給はく)②念頃=念比③十(月 日)④四條金吾殿御返事=月滿御前え⑤